

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

クィンテットはまだ農村再生計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県

浜田市

## 3 地域再生計画の区域

浜田市の全域

## 4 地域再生計画の目標

本地域は、島根県西部、石見地方のほぼ中央に位置し、北は日本海、南は中国山地で広島県と接した人口 60,200 人、面積 689k m<sup>2</sup>の地域であるが、森林面積が 81%を占め、日本海に面した平野部以外は典型的な中山間地域となっている。

旧那賀郡 4 町村と旧浜田市は、5 市町村による広域合併を平成 17 年 10 月に行い、市町村合併後も旧市町村単位で自治区（浜田那賀方式）を設けて、新市まちづくり計画などにに基づき、「安心して、健やかに、楽しく住める一体的なまちづくり」と「地域の個性を活かしたまちづくり」を基本方針とし、当市独自の浜田那賀方式自治区制度のもと、様々な取り組みを行っている。

また、定住対策として、平成 21 年 8 月に作成した「浜田市 U・I ターン促進プラン」に基づき、農林漁業を中心とした就労対策や空き家を有効活用した住居対策を推進し、都会地から多くの若い世代の皆さんに、浜田市に「来て」、「見て」、「知って」、「暮らして」もらうことのできるよう、「はまだ暮らし体験事業」などの施策を推進したいと考えている。

農産物は、水稻をはじめ、野菜類、果樹及び花木、さらには畜産物と多種品目にわたっており、特に浜田市旭町の赤梨「旭豊（きょくほう）」、同三隅町の西条柿の生産が盛んである。

主な交流施設としては、乗馬体験のできるかなぎウエスタンライディングパーク、金城カントリークラブ、リフレパークきんたの里、美又温泉、旭温泉、旭テングストーンスキー場、ふるさと体験村、石正美術館、石州和紙会館等がある。本地域においては、これら各種交流施設と風光明媚な自然など豊富な地域資源に石見神楽や和紙づくりに代表される伝統文化を活かし、ふるさと体験村の春まつり等のイベントや棚田百選に選ばれた「室谷の棚田」で毎年秋に開催される室谷棚田まつりなどの各種交流事業による地域活性化策を進めており、観光客も増加傾向にあり、農林産品の販売・地域雇用などにも大きく寄与している。

『なつかしの国石見』をキャッチフレーズに地域資源を活かした観光の振興については、経済効果が高い滞在型観光の充実を目指して、「石見神楽」・「ツーリズム」・「食」を軸に、ツアー客に対する石見神楽の観覧助成、観光・体験旅行の受け皿となるツーリズム組織の育成、支援等に取り組み、特に新たな食の魅力づくりに向けては、現在、五つの地域の食への想い「五地想（ごちそう）ものがたり」という言葉に込めて、民間と行政が連携して地産地消を推進し、更なるおもてなしの心の浸透を図りたいと考えている。

しかしながら、地域内の道路網は、南北に浜田市と広島市を結ぶ浜田自動車道や国道 186 号は整備され、これと東西を結ぶ海岸部の国道 9 号を肋骨として骨格的な道路網を形成しているが、これらを有機的に結ぶ交通網については整備が遅れ、「人」と「もの」の流れに大きな支障をきた

し、その結果、高速交通網（浜田自動車道、萩・石見空港）へのアクセスや行政・観光・交流施設などの中核施設と周辺集落との往来や農林産物の集出荷に支障をきたしていた。

このため、平成17年度に前計画の「グリーンカルテット那賀農村再生計画」を策定し、旧那賀郡内の中山間地域を走る幹線道路等を整備することにより、旧町村間を約20分で結ぶ「那賀郡内町村間20分間構想」の実現を目指してきた。その結果、那賀西部地区広域農道や市道3路線が完成するなど、地域内の交通網の改善を着実に進めることができた。しかし、一方では、前計画の期間中に完成できなかった路線や新たに整備を必要とする路線が生じるなど、依然、広域的なネットワーク化が未完成な状態であり、今後5年間で更に整備を進めていく必要がある。

具体的には、前計画で開通した那賀西部地区広域農道に引き続き、地域内の幹線道路である石見西部3期地区広域農道を本計画で完成させるほか、市道や林道の整備を進めることにより、浜田自動車道、国道、県道、市道、農道、林道との交通ネットワーク化を実現し、地域内や萩・石見空港への時間距離を縮め、各自治区間や各種団体の連携、公共施設や交流施設等の相互利用等を促進することにより住民の利便性の向上を図るとともに、インターチェンジや空港へのアクセス時間を短縮し、周辺都市や大都市圏と短時間での往来を可能にする。

また、現在工事の進められている一般国道9号浜田・三隅道路へのアクセス道を整備することにより、交通ネットワークのより一層の強化を図ることが出来、高速交通網へのアクセスが更に向上するものである。

前計画においては、旧町村の中心部と周辺集落を結ぶ市道、農道及び林道などの整備を進め、安全で快適な道路環境づくりに努めるとともに、浜田市各支所や病院、消防署等への往来時間を20分以内に短縮し、民生の安定を図ることとしていたが、予定どおり整備完了することが出来ておらず、引き続き行っていきたいと考えている。

これらの取り組みを通じて、広島から域内への時間距離を1時間半以内にするなど、都市からの交通の利便性を大幅に向上させるほか、地域内の移動時間の短縮により、地域内の交流施設等を有機的に結ぶ観光ルートを確立するなど、「人」と「もの」の流れを円滑にし、「しまね田舎ツーリズム」等も活用して都市部からの観光等の入込客を拡大する。更には、物資輸送の利便性向上や伝統的な食文化及び地域の豊かな農林特産物等を観光客に提供するなどにより、農林特産物の生産・販売量の増大を目指す。また、木材価格の低迷、高齢化等により整備がいきとどかない森林において、地球温暖化防止にも帰する森林整備を実施するため、必要な路網整備を実施し、森林施業の効率化を図る。

（目標1）高速交通網へのアクセス時間の短縮

浜田市旭支所 ～ 萩・石見空港（110分 → 65分）

（目標2）観光の推進による入込客の増加

5ヵ年目標 170万人 → 190万人（10%の増加）

（目標3）主要農産物の生産販売量の増大

販売額	平成20年度実績	2,073百万円
	平成26年度目標	2,363百万円

（目標4）森林施業の推進

森林整備面積	平成21年度	440ha	（平成21年度実績見込み）
	平成26年度目標	700ha	

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

浜田市三隅町から益田市へ至る「広域農道 石見西部3期」を整備することにより「萩・石見空港」へのアクセス時間を短縮し、大都市圏との短時間での往来を可能にする。

また、「市道小国峠線(浜田市金城町)、青原伊木線(同金城町)、柏尾谷線(同旭町)、石浦線(同三隅町)」及び「林道 足尾線(同旭町)」の整備をすることにより、行政・観光・交流施設などと周辺集落との往来時間を短縮し、「人」と「もの」の流れを円滑にするとともに、森林のもつ水資源かん養等の公益的機能の高度発揮や森林施業の効率化を図る。

### 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

#### 道整備交付金を活用する事業【A3001】

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続きを終了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所図を示した図面による。

- ・広域農道；事業計画については土地改良法に基づく手続きを行い、平成10年3月16日に確定しており、事業採択は平成16年4月1日に国より通知を受けている。
- ・市道；道路法に規定する市道に認定済  
小国峠線：平成4年3月18日(供用開始)  
青原伊木線：昭和55年8月9日  
柏尾谷線：昭和56年3月16日  
石浦線：平成元年3月14日
- ・林道；森林法による江の川下流域地域森林計画(平成17年4月1日樹立)に路線を記載

#### 【施設の種類(事業区域)実施主体】

広域農道 (浜田市) 島根県  
市道 (浜田市) 浜田市  
林道 (浜田市) 島根県

#### 【事業期間】

広域農道 (平成22年度)  
市道 (平成22年度～平成26年度)  
林道 (平成22年度～平成26年度)

#### 【事業費】

総事業費	1,567,948千円	(うち交付金 783,974千円)
・広域農道	105,100千円	(うち交付金 52,550千円)
・市道	926,848千円	(うち交付金 463,424千円)
・林道	536,000千円	(うち交付金 268,000千円)

#### 【整備量】

広域農道 1.82km、市道 2.36km、林道 1.54km

### 5-3 その他の事業

- ・市道整備事業

浜田市は、利便性向上のため、平成 22 年度に、金城町の市道 1.00km を整備する計画である。具体的には、市道七条石見線で平成 17 年度から着手し整備を進めており、平成 22 年度の完成を目指し整備を図る。

- ・農道整備事業

島根県、浜田市は、農産物集出荷の時間短縮等のため、平成 22 年度に農道 0.78km を整備する計画である。具体的には、農道美又線で平成 17 年度から着手し整備を進めており、平成 22 年度の完成を目指し整備を図る。

- ・林道整備事業

島根県は、中山間地の林業等による地域振興を図るため、適切な森林整備の実施や効率的な木材生産活動を推進し、地域の改善や交流人口の増のための基幹的な林道整備を行う。具体的には、三隅町から弥栄町を経由し、金城町を結ぶ基幹となる林道三隅線及び金城弥栄線で、整備量 4.4 km、15.3 km で平成 20 年から着手し整備を進めており、今後も同様に進め早期完成を図る。

- ・森林整備事業

島根県、浜田市等は、「浜田市森林整備事業計画」（平成 21 年度策定中）等に基づき、地球温暖化対策に資するため、間伐を中心とした森林施業を実施し、森林の持つ公益的機能の効率的な発揮を図る。

- ・伝統文化（石見神楽）を活かした地域間交流促進事業

浜田市は、伝統文化を活かした地域間交流を促進するため、石見神楽の定期公演を毎年 9 月から 12 月にかけて美又温泉や旭温泉で実施するとともに、毎年秋には弥栄産業まつり、室谷棚田まつり、旭ふる里まつり等の各種イベントでも神楽の公演を実施してきており、今後も同様に進める。

- ・弥栄町民との交流促進事業

浜田市は、弥栄町のふるさと体験村において毎年春まつりを行い、都市部からも集客し、住民との交流促進を図ってきており、今後も同様に進める。

- ・定住対策体験事業

浜田市は定住対策として、都会の人に田舎での暮らしを体験してもらう「ふるさと探し体験事業」、「滞在体験パック」、ふるさと島根定住財団の「しまね暮らし体験事業」を実施してきており、今後も同様に進める。

- ・地域づくりインターン事業

浜田市は国土交通省と連携して、地方での生活経験のない若者に生活の場を提供し、地方の良さを知ってもらうとともに、フレッシュな観点を地域の活性化に役立てるため、「地域づくりインターン事業」を平成 17 年度から浜田市弥栄町で実施してきており、今後も同様に進める。

## 6 計画期間

平成 22 年度～平成 26 年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に島根県、浜田市の関係部局で会議を開催し必要な調査を行い、状況を把握・公開するとともに、市民の代表者等と共同で達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行う事とする。

- 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項  
該当無し

## 添 付 資 料

### 目 次

1. 地域再生計画の区域に含まれる行政区画を表示した図面
2. 地域再生計画の区域を示した図面
3. 各施設の整備箇所を示した図面
4. 地域再生計画の工程表
5. 地域再生計画の工程表の説明
6. 変更理由書
7. 事業費等新旧対照

地域再生計画に含まれる行政区画を表示した図面



# 地域再生計画の区域 <浜田市の区域>



凡 例	
	高規格幹線道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	主な農道
	主な林道
	市道

浜田市役所本庁

浜田

金城

旭

浜田市三隅支所

三隅

浜田市弥栄支所

弥栄

益田市

浜田東 I.C.

浜田 I.C.

浜田 J.C.T.

金城 P.A.

旭 I.C.

浜田市金城支所

浜田市旭支所

瑞穂 I.C.

広島県

北広島町

安芸太田町

江津市

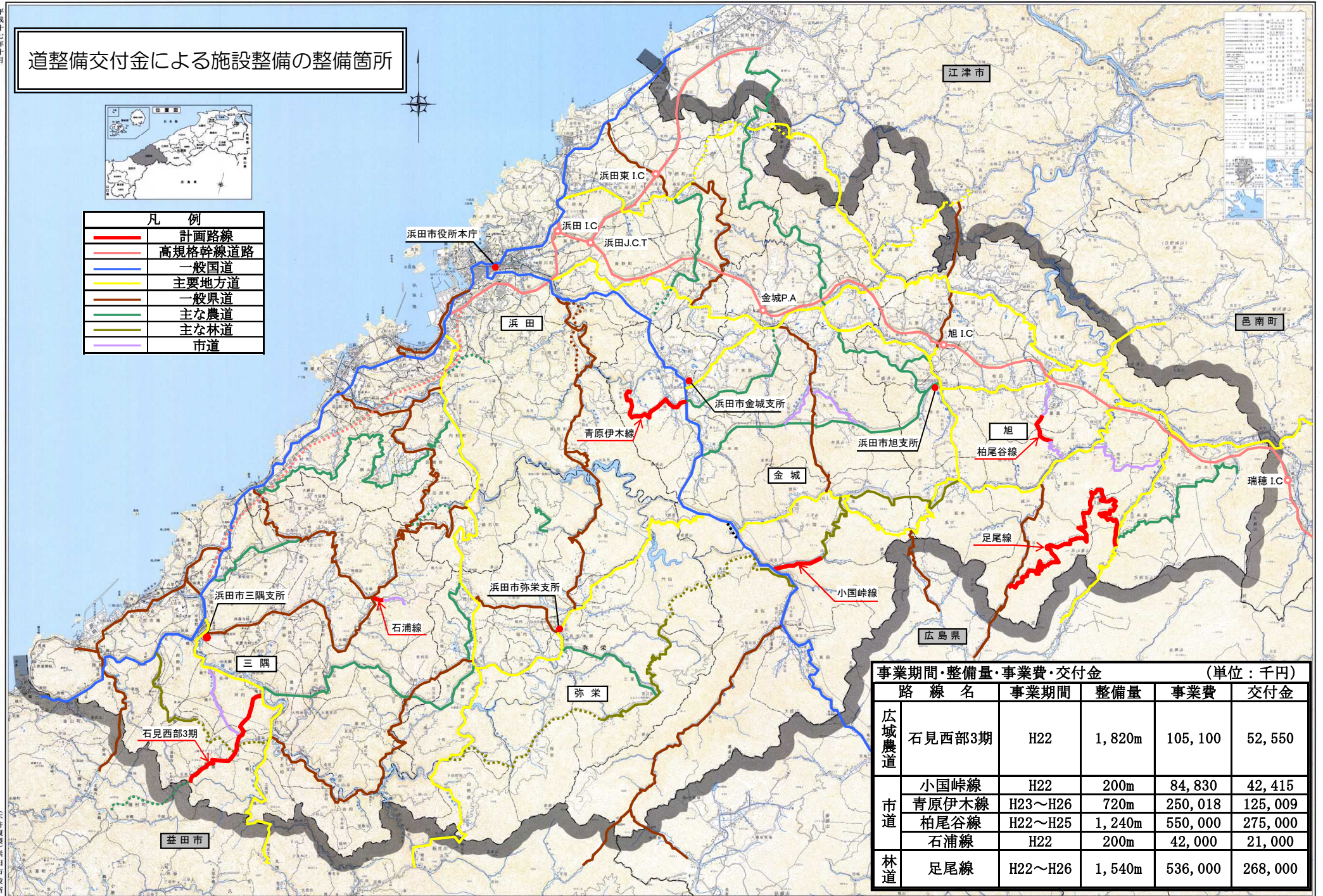
邑南町



# 道整備交付金による施設整備の整備箇所



凡 例	
<span style="color: red;">—</span>	計画路線
<span style="color: red; font-weight: bold;">—</span>	高規格幹線道路
<span style="color: blue;">—</span>	一般国道
<span style="color: yellow;">—</span>	主要地方道
<span style="color: brown;">—</span>	一般県道
<span style="color: green;">—</span>	主な農道
<span style="color: olive;">—</span>	主な林道
<span style="color: purple;">—</span>	市道



事業期間・整備量・事業費・交付金 (単位：千円)					
	路線名	事業期間	整備量	事業費	交付金
広域農道	石見西部3期	H22	1,820m	105,100	52,550
	小国峠線	H22	200m	84,830	42,415
市道	青原伊木線	H23~H26	720m	250,018	125,009
	柏尾谷線	H22~H25	1,240m	550,000	275,000
	石浦線	H22	200m	42,000	21,000
林道	足尾線	H22~H26	1,540m	536,000	268,000

地 域 再 生 計 画 の 工 程 表

支援措置の名称		H22	H23	H24	H25	H26
支援措置	道整備交付金の活用	○広域農道、市道及び林道の一体的整備				
		・広域農道(周辺集落と浜田市三隅町 中心部を結ぶ石見西部3期の整備) 石見西部3期				
		・市道(周辺集落と浜田市金城町中心部を結ぶ小国峠線の整備) 青原伊木線、小国峠線 (周辺集落と浜田市旭町中心部を結ぶ柏尾谷線の整備) 柏尾谷線 (周辺集落と浜田市三隅町中心部を結ぶ石浦線の整備) 石浦線				
		・林道(周辺集落と浜田市旭町中心部を結ぶ足尾線の整備) 足尾線				
関連事業		○関連事業 ・市道(周辺集落と浜田市金城町中心部を結ぶ七条石見線の整備)				
		○関連事業 ・農道(周辺集落と浜田市金城町中心部を結ぶ美又線の整備)				
		○関連事業 ・林道(山のみち地域づくり交付金事業 三隅町から弥栄町を経由し、金城町を結ぶ基幹林道の整備)				
		○関連事業 ・きんさい石見路ツーデーウォーク (浜田市旭町、同金城町、同弥栄町において、都市住民に地域の良さを理解してもらうため、毎年秋にツーデーウォークを実施)				
		○関連事業 ・石見神楽の定期公演(伝統文化を活かした地域間交流を促進するため、石見神楽の定期公演や各種イベントでの公演を実施)				
		○関連事業 ・ふるさと体験村春まつり(浜田市弥栄町では、都市住民と村民の交流促進のため、毎年春まつりを実施)				
		○関連事業 ・第2のふるさと発見コース、しまね暮らし体験事業 (浜田市では、定住対策として、定年退職者や若年層、都市住民に農業体験や田舎の暮らしを体験してもらう事業を浜田市弥栄町で実施)				
		○関連事業 ・地域づくりインターン事業(浜田市では、都市住民に地方の良さを知ってもらうために、生活の場を提供する事業を浜田市弥栄町で実施)				

ウィンドウははまだ農村再生

## 地域再生計画の工程表の説明

### ○広域農道

- ・石見西部3期は、整備量1,820mで平成17年度から着手している。今回の計画では、平成22年度を完了予定としている。

### ○市道

- ・小国峠線は、整備量200mで平成20年度から着手している。今回の計画では、平成22年度を完了予定としている。
- ・青原伊木線は、整備量720mで平成23年度着手し平成26年度を完了予定としている。
- ・柏尾谷線は、整備量1,240mで平成18年度着手している。今回の計画では、平成26年度を完了予定としている。
- ・石浦線は、整備量687mで平成20年度着手している。今回の計画では、整備量200m事業費42,000千円で平成22年度を完了予定としている。

### ○林道

- ・足尾線は、整備量1,540mで平成18年度着手している。今回の計画では、平成26年度を完了予定としている。

### ○関連事業

#### ・市道

市道七条石見線は、整備量1,000mで平成17年度着手し平成22年度を完了予定としている。

#### ・農道

農道美又線は、整備量776mで平成17年度着手し平成22年度を完了予定としている。

#### ・林道

山のみち地域づくり交付金事業において三隅町から弥栄町を經由し、金城町を結ぶ基幹林道を整備する。

林道三隅線及び金城弥栄線は、整備量4.4km、15.3kmで平成20年から着手し、平成32年度完成を予定としている。

- ・きんさい石見路ツーデーウォークを毎年秋に実施している。
- ・石見神楽の定期公演等を毎年9月から12月にかけて実施している。
- ・ふるさと体験村では春まつりを毎年春に実施している。
- ・第2のふるさと発見コース、しまね暮し体験事業を毎年実施している。
- ・地域づくりインターン事業を平成17年度から毎年実施している。

(参考資料)

「クイントットはまだ農村再生計画」道整備交付金 事業費等新旧比較

単位：延長(m)、事業費(千円)

区分	路線名	内容	整備量、事業費、交付金				補助率	増減	備考
			認定	軽微な変更	軽微な変更	軽微な変更			
			H22.3.23	H25.1.22	H26.5.22	H27.3.25			
市道	石浦線	延長	200	200	200	200	50%		H22完了
		事業費	42,000	42,000	42,000	42,000			
		交付金	21,000	21,000	21,000	21,000			
	小国峠線	延長	200	200	200	200	50%		H22完了
		事業費	85,000	84,830	84,830	84,830		▲ 170	
		交付金	42,500	42,415	42,415	42,415		▲ 85	
	青原伊木線	延長	720	720	720	720	50%		
		事業費	204,000	250,000	250,018	250,018		46,018	
		交付金	102,000	125,000	125,009	125,009		23,009	
	柏尾谷線	延長	1,240	1,240	1,240	1,240	50%		
		事業費	350,000	515,000	550,000	550,000		200,000	
		交付金	175,000	257,500	275,000	275,000		100,000	
	市道計	延長	2,360	2,360	2,360	2,360			
		事業費	681,000	891,830	926,848	926,848		245,848	
		交付金	340,500	445,915	463,424	463,424		122,924	
広域農道	石見西部3期	延長	1,860	1,820	1,820	1,820	50%	▲ 40	H22完了
		事業費	126,000	105,100	105,100	105,100		▲ 20,900	
		事業費監督費除	126,000	105,100	105,100	105,100		▲ 20,900	
		交付金	63,000	52,550	52,550	52,550		▲ 10,450	
		指導監督費							
	広域農道計	延長	1,860	1,820	1,820	1,820		▲ 40	
		事業費	126,000	105,100	105,100	105,100		▲ 20,900	
		事業費監督費除	126,000	105,100	105,100	105,100		▲ 20,900	
		交付金	63,000	52,550	52,550	52,550		▲ 10,450	
		指導監督費							
林道	足尾線	延長	1,500	1,500	1,500	1,540	50%	40	
		事業費	500,000	500,000	536,000	536,000		36,000	
		事業費監督費除	500,000	500,000	536,000	536,000		36,000	
		交付金	250,000	250,000	268,000	268,000		18,000	
		指導監督費							
	林道計	延長	1,500	1,500	1,500	1,540		40	
		事業費	500,000	500,000	536,000	536,000		36,000	
		事業費監督費除	500,000	500,000	536,000	536,000		36,000	
		交付金	250,000	250,000	268,000	268,000		18,000	
		指導監督費							
総事業費	事業費	1,307,000	1,496,930	1,567,948	1,567,948		260,948		
	事業費監督費除	1,307,000	1,496,930	1,567,948	1,567,948		260,948		
	交付金	653,500	748,465	783,974	783,974		130,474		
	指導監督費								

延長  
 市道 2,360m  
 広域農道 1,820m  
 林道 1,540m  
 総事業費 1,567,948千円 783,974千円  
 市道 926,848千円 463,424千円  
 広域農道 105,100千円 52,550千円  
 林道 536,000千円 268,000千円